

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170200802		
法人名	有限会社 篠路愛護苑		
事業所名	グループホーム からまつ		
所在地	札幌市北区篠路3条7丁目9-17		
自己評価作成日	平成31年2月8日	評価結果市町村受理日	平成31年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2018.022_kani=true&JigyosyoCd=0170200802-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成31年2月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の状態、状況など諸祝印が把握出来ており心地よく過ごせるよう日々支援をしています。理念にもある「仲間と一緒に支え合いながらゆっくりのんびりと過ごしていきたい」というように、のんびりとアットホームな事業所です。近くには徒歩三分の場所に篠路駅があり、交通の便はとも良いです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム からまつ」は、JR篠路駅から徒歩で3分程の横新道に面した商店街に立地している、2階建て1ユニットのグループホームである。建物内は広々とした居間を中心に、居室や台所、浴室とトイレを配置した造りになっている。壁には絵画や季節の装飾、利用者が制作したカレンダーの塗り絵などが飾られている。管理者を中心に全職員で理念を共有し、一人ひとりの利用者の思いに寄り添いながら、本人のペースでゆっくりのんびり、笑顔で安らいだ自分らしい毎日過ごせるように職員間で支援方法を検討して温もりのある家庭的な統一したケアを行っている。また、今年度は全職員で各利用者のセンター方式シート(B-3・D-1・D-2)を新たに作成し、本人の思いや意向、現状を更に把握しながら介護計画の見直しに活かしている。区役所の担当者や地域包括支援センター職員と連携を密にして、後見人の手続き方法や医療カプセルの保管場所についてアドバイスを受けている。今年の10月に、2ユニットのグループホームとして同法人「第2からまつ」跡地に転居を予定している。転居後は更に地域に密着したグループホームを目指しており、新たな場所で地域住民や子供たちとの交流を深めたいと考えている今後も発展が期待できる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1階フロア壁に理念を掲示しており、職員全員が共有している	開設時に作成した事業所独自の理念に、「地域や自然と触れあい、関わりをもって、ゆっくりのんびり自分らしく毎日過ごしたい」という内容の文言が含まれている。「自分らしく」という理念を重視しながら、全職員でその人らしい生活を支えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、都度回覧板で共有し、災害時には近隣の電気屋さんから情報を得ることが出来た	商店街のお祭りでステージや出店を楽しんだり、同法人の催しに出かけて踊りや歌を見学している。利用者と一緒に回覧板を届けたり、近隣住民と挨拶を交わしている。今後は子供たちと交流する機会を増やしたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の忘年会などに参加し、認知症について尋ねられることがありゆったりとお話出来る機会なので、認知症のお話やこんなことをしていますということを伝えていきます		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度開催する運営推進会議でご家族や包括からも毎回参加して頂き報告と地域の情報交換を行っている	通信で開催を案内し、行政や家族代表が参加して事業所からの報告や外部評価報告、熱中症や認知症について説明している。地域包括支援センター職員から医療カプセルの保管場所のアドバイスを受けている。地域役員の参加は今後の課題となっている。	地域役員に参加を依頼すると共に、テーマを記載した会議案内を全家族に送付し、参加できない家族の意見も会議に活かすよう期待したい。また、質疑応答などを記載した議事録を全家族に送付するよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	包括支援センターや区役所の協力を得ている	区役所の担当者から後見人の手続き方法についてアドバイスを受けたり、分からないことがあればその都度電話でも相談している。担当者が交代した時は挨拶に来てくれるので、情報交換しながら協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束11項目の掲示をしており、職員間での情報の共有をしており身体拘束の無いように取り組んでいる	「不適切ケア防止委員会」要綱を作成して3か月ごとに委員会を開催している。内外の研修で「禁止の対象となる具体的な行為」を確認している。不適切ケア防止委員会で言葉遣いや拘束につながる対応が無いかなどを確認しながら、今後も身体拘束をしないケアに取り組むと考えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会やプリント資料にて情報共有しており防止に努めている		

グループホーム からまつ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の中に後見人を付けている方や手続きをしたいという方がいたので、わたしたちも学ぶことが出来とても勉強になりました。今後も必要に応じて活用しその方々を支援したい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時説明を行い、理解を頂きます。解約時のご相談に乗りよりよい環境へ導く努力をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた際や電話にて、お話をさせて頂きご家族からの要望には、すぐに対応しています 月に1度の通信に個々に状況報告をしている	家族の来訪時に利用者の様子を伝えながら意見や要望を聞き取り、連絡ノートに記載している。今後は継続的に情報を共有できるように、職員の気付きなども個別に記録することを検討している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、その都度職員との話し合いにて反映している	朝の申し送りや毎月の会議で利用者の状況について話し合い、職員間で支援方法を検討して統一したケアを行っている。職員の意見や提案を受けて、勤務時間帯に応じた仕事内容の見直しを行うこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者から代表へ個々の勤務状況等の報告しており、面談をしたり整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の力量を把握し、研修や業務中での指導を含めケアの大事さを理解してもらっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	札幌市、北区の連絡会やほかのGH管理者との意見交換の場があり、サービス向上につなげている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は以前の情報を確認し、ご家族からの要望を確認しその方との関わりの中、表情や言葉から安心して過ごせるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までの生活状態、環境を家族から聞き取り、新しい環境での生活、体調など報告し安心して頂いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新しい環境での共同生活に慣れていく中で、出来る事出来ない事を見極め本人へ確認しながら支援に繋げている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の一日の生活リズムを大事にしながら、声掛けを行い他氏達との関係を築けるよう支援している		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通信にて生活状況を報告しており、来苑時にも近々の状況を報告している、家族からも最近どうですか?と尋ねて来られるためその都度お話をし報告をしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様の協力で受診、外泊等それぞれの協力を得ている。嬉しそうに出かけられています。	前職の関係者と外出先で会って挨拶を交わしたり、訪ねて来くこともある。家族と一緒に受診時に夕食したり、姉妹宅に出かけている利用者もいる。以前からのかかりつけ医の受診を継続している方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やレクリエーション、体操など他氏と関われる時間を過ぎ押ししている お誕生会では一人ひとりが誕生日の方にお祝いの言葉を伝えています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後の施設、入院時など今までの生活状況・身体状況など即情報提供が出来るよう継続し支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の表情や訴えなどからどのような事が困難と感じているのか、申し送りの中で確認しその都度検討し、支援に繋げている	会話や行動、仕草などから思いや意向を把握している。年1回、センター方式シート(B-3・D-1・D-2)を各職員の視点で記録して現状を把握し、介護計画の見直しに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報と本人との会話の中からどんなことに興味があるのか関わりながら把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りにて出来る事、出来なくなったことなど確認している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月ごとにモニタリングを行い新しい課題があるかカンファレンスで話し合い介護計画を作成している	2名の利用者担当職員の評価を基に全職員で話し合い、3か月ごとに計画作成担当者が介護計画を作成している。計画の変更内容をメモ書きで家族に伝え、確認を得ている。介護計画のサービス内容に沿って変化や課題を日々記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の送りや連絡ノート、アセスメントシートを活用し全職員が共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	申し送りの状態確認、現状の課題について確認し対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のお祭り等に、参加出来る方へ声掛けし関わりを持ち楽しんでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療、訪問看護には定期的を受診している	家族とかかりつけ医を受診する時は、状況に応じてメモ書きや手紙を持参してもらうこともある。精神科や専門医は事業所で受診を支援している。「病院受診表」に受診と往診を個別に記録している。	

グループホーム からまつ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護を受け、週間の生活・身体状況を伝えている。緊急時には連絡を入れ指示を受けている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設での情報、フェイスシート、介護添書を提供し入院中の生活に協力出来るようにしている。退院時には帰苑後の生活の協力を得ている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人の状態を主治医・看護師との情報交換し家族への報告をしご家族の納得のするまでお話し安心して生活が出来るよう支援している	「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、利用開始時に事業所として可能な対応について説明している。食事が摂れなくなった場合など、主治医の判断の下に家族と方針を話し合い、希望に応じて転居先の施設を紹介している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会、研修、避難訓練などで全職員が受けている為対応できる		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	プリント資料を使い、避難場所や経路等の共有をしている。近隣にも認知症の施設という理解は得られている	年2回、夜間の水害や火災を想定した自主訓練を実施している。3月に消防署の協力を得た避難訓練を予定している。地域役員などに今後も参加を依頼する意向である。ケア別の対応について話し合った内容をマニュアルに綴りたいと考えている。	消防署の協力の下、地域住民や利用者も参加した避難訓練の実施を期待したい。また、運営推進会議で、地域との協力体制について話し合うよう期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格に応じ、声掛けしながら対応している	接遇については、丁寧語で話すように管理者が指導している。プライバシーに関わる内容は居室カスタッフルームで利用者と話している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	起床や入浴に訴えが出ることが多いのでその日の状態状況に応じて対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで動けるよう状態を見極めて支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた装いが出来るよう支援している 頭髪や爪などもその都度切ったり整えたり支援している		

グループホーム からまつ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食後、自分の食器を重ねてくれる方や、自分のおかずをどうぞと差し出す方もおります。もう配膳は難しいが、ご飯ですよと皆さんに声を掛けてくれる方も居ます	法人グループの管理栄養士の献立である。利用者の中から希望するメニューを出し、喜ばれている。自分でサンドイッチ作りをしたり、誕生日には赤飯や栗ご飯、ケーキやパフェで祝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嚥下状態に応じてトロミ使用したり、おかずを刻みにしたりお粥にしたりと対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自ら磨ける方には、声掛けと見守りを行い、そうでない方には介助にて行い食べかすが残らないよう支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表があり、時間を見ながら声かけ誘導している。夜間のみ着座介助を行っている方も居ます。	排泄チェック表は、介助が必要な利用者のみ記録している。トイレに座る時に介助を行い、床の汚染や失禁での不安感を軽減するなど、安心して排泄ができるように配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医への報告はもちろん、指示を受けながら食事、水分を確認し状況に応じ腹部マッサージなど行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	拒否の強い方も居ますが、時間を空けて再度声掛けや翌日にずらすなどし清潔が保てるよう支援している	曜日を問わず午後の時間帯で支援しており、入浴をこぼむ場合は、スタッフ間で連携した声かけや日にちをずらすなどしている。入浴剤は何種類か用意したり、湯加減を好みに合わせている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペース、リズムに沿って休めるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は介助し、薬の変更増減は連絡ノートで共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日中のゴミ集めや天気表の記入、タオルたたみなど役割を持って楽しんで頂いています 季節の行事も計画し楽しんでいる		

グループホーム からまつ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人員不足により希望に沿えない事もあるが、ご家族や地域の協力を受けながら支援している	天候のよい時期は職員と一緒に回覧板を回している。篠路神社の桜を眺めたり、商店街の夏祭りに出かけている。百合が原方面へ数回に分けてドライブしたり、「第2からまつ」のイベントの見学に行っている。今後は外出の機会を増やす予定である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内でのお金の使用は出来ない事はご家族に伝えてあります。お財布を持っている方もあり、職員が中身を把握しており見守りしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればその都度対応しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中、買いで過ごしたり部屋で過ごしたり様々ですが歩行状態や他氏との関わりを見て快適に過ごせる支援に努めている。季節に応じたディスプレイをし、行事を開催している	玄関はガラス張りで明るく、椅子が置かれている。居間にはソファが2つあり、利用者が動きやすいように手すりを設置している。一人がけのソファは脚の高さを調節し、立ち上がりに配慮している。一角には、神棚や壁に利用者の手作りカレンダー、絵画が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自ら自室に戻られたり、フロアに来られたりされフロアには全員が座れる分のソファがありゆったりと過ごせます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の馴染みのものを置き落ち着いて過ごせる工夫をしています。	居室は広く、大型のクローゼットが備えつけられており、中に整理タンスやハンガー掛けの衣類などが収納されている。好きな縫いぐるみや記念の写真、お気に入りの品々が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に出来る事、わかる事の情報共有はできている、その際の状態、表情などを見て声掛けし行っている		

目標達成計画

事業所名 グループホームからまつ

作成日：平成 31年 2月 28日

市町村受理日：平成 31年 3月 1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現状では、地域役員の参加が声掛けしてもなく商店街が遠いこともあるのか参加はない。ご家族も毎回ひと家族のみの参加を頂いており、少ない人数での会議となっている。	地域役員やご家族の参加を増やし色々なテーマで会議を行い情報交換の場としたい。	すぐに通信と一緒に運営推進会議のレジメと議事録をお渡しし、案内をした。今後も年間のテーマを決めて参加を募りその都度意見を出し合いながら今後に反映していく。	3か月
2	35	消防署の協力の下地域住民や利用者も参加した避難訓練の実施を期待したい。地域との協力体制について話し合うよう期待したい。	近隣住民や利用者が参加して避難訓練が出来るよう働きかけを行う。	年に2回の内1回は消防署の立会いの下行っているが利用者の参加はなく行っていたが今後の訓練では利用者の参加や地域の住民への声掛けをし訓練が出来る様にする。	1ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。